

京林大だより

No.58



絵：卒業生 熊走君

2年生（16名）が就業に向けた キャップストーン研修に参加しました



京都府内外の事業体で、伐倒・製材・機械操作など様々な実務研修を受ける林大生

自然に対する考えや
思いを深めることが
できました。

研修後の 学生の声

これからの林業に
市民参加は欠かせない
ものであると考えます。

木育イベントの開催にあたり、
想像できなかった大変さを
学ぶことができました。

作業の全体像を把握して
効率的に早く作業を行う
ことを常に意識してい
きたいです。

安全を第一に考えなが
ら作業することの重要
性がよく理解できました。

林大のキャップストーン研修は、2年生が1ヶ月間の研修を2回受けるもので、学校での体験が難しい実務作業や社会人としての規範等を学びます。研修先の事業体は、学生自身が業種も含めて自分で決めて、事業体の全面的な御協力によって実施することができます。本年は京都府内外27の事業体（森林組合、民間林業事業体、製材所、公益法人など）にお世話になりましたが、事故等もなく無事に研修を終えることができました。研修生を受け入れていただきました事業体の皆様におかれましては、大変お世話になり、本当にありがとうございました。

学生たちは、入学以来学んできた技術が実際にどの程度通用するのかを体感するとともに、実務における様々なことを体験する中で、自ら課題を見だし、その改善に向けて決意を新たにしているところです。また、研修で得られた多くのことを1年生に伝えるための報告会を開催し、次年度以降の研修参加に向けて意識の醸成を行いました。



報告会の様子

「第6回林大祭」 のお知らせ

コロナ禍で開催が心配されておりましたが、林大生が企画し、地域や林業関係者の皆様と親睦を深めることを目的に「第6回林大祭」を開催します。

木を使ったゲーム（ロープアトラクション、オセロ等）や、木工教室（トロッケンゲビンデ作り、リース作り）、各種模擬店など、お子様にも楽しんでいただける催しがたくさんあります。

ぜひ、ご家族で林業大学校へお越しください。

第6回林大祭

テーマ「そうだ、木を知ろう！」

○日時：令和3年12月5日（日）10時～16時

○場所：京都府立林業大学校 校内

○内容：模擬店、木工教室、森のアトラクション
木工品の販売 など



校長室より

林道は優れた道です

校長 森 敦司

「林道」といわれると皆さんどんなイメージをお持ちでしょうか。山の中の砂利道で、暗いイメージをお持ちではないでしょうか。テレビやラジオなどで、「林道沿いの森林で〇〇を発見・・・」などと暗いニュースが流れるたびに、私は「それ本当に林道ですか？」と、林道整備に携わってきた者として、いつも心の中でつぶやいております。

では、林道とは一体どのような道なのでしょう。広辞苑によりますと、「林の中に通じている道。林産物を運搬するための道路。」と記されております。その通りであります。林の中の道が全て林道ではありません。林道には、林道規程という規格があり、これにより、道の幅、傾斜、カーブの大きさや制限速度などが細かく決められております。

今月の授業参観

『京の木と文化』

秋を迎え、1年生は現地に赴き奥深い林業の歴史と木の文化を学びました。

10月13日午前 京都市西京区に大仏師 松本明慶先生を訪ね、心を込めて木から感動を彫り出す姿を学びました。

同日午後 上京区大極殿跡に近い山中油店ゲストハウス等を訪ね、人と木が織りなす文化を現代に活かす取組を見学しました。

11月1日 右京区京北に、平安京造営より桂川の筏運材を通じてつながる山国林業地を訪ねました。祖父谷旧展示林、筏場跡、山国神社からダム湖の底に沈んだ筏中継地、「世木」を訪ね、往時の林業と時代によって変化する木の流通を学びました。



祖父谷旧展示林にて、指導林家江口喜代志氏より、一番丸太の末口直径を推計できる検尺が紹介されました。

林道の目的は、切った木を運び出すことが一番大きな目的ですが、それ以外に森林の管理、通勤通学やレジャーにも利用されております。また、林道には管理者が定められており（主に市町村や森林組合）、林道の維持管理がされております。

これらのことから、林道はただの「林の中に通じている道」ではなく、自動車が安全に走行することできる、グレードの高い優れた道なのであります。

ところで、ここ林業大学校のある京丹波町には、民有林では日本一の長さの林道（今は定かではありませんが、建設当時はそう言われておりました。）があることをご存じでしょうか。それは、丹波広域基幹林道であります。京丹波町下山の大福光寺の前から南丹市を経て京都市左京区花脊大布施町に至る全長65.4kmの林道で、淀川と由良川の分水嶺を縫うように走っています。今の時期、雲海や紅葉の絶景を見ることができます。林道を利用するには管理者（所在地の市町）の許可が必要ですが、機会があれば是非訪ねていただきたい林道です。